【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年11月21日(2024.11.21)

【国際公開番号】WO2023/176399
【出願番号】特願2024-507674(P2024-507674)
【国際特許分類】
G01N 35/10(2006.01)
G01N 35/02(2006.01)
【FI】
G01N 35/10 K
G01N 35/02 C

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月10日(2024.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検体中の対象物質を検出する検出部と、
検体採取容器から前記検体を吸引し、前記検体を反応セルに吐出するサンプリングノズルと、前記サンプリングノズルを移動させる移動機構と、を有する検体分注部と、
前記サンプリングノズルを撮影するノズル撮影用カメラと、
前記検体分注部及び前記ノズル撮影用カメラを制御するプロセッサとを備え、
前記プロセッサは、
前記サンプリングノズルが前記検体を吸引した後、前記反応セルに吐出するまでの間に、前記検体を保持した状態の前記サンプリングノズルの画像を、前記ノズル撮影用カメラから取得し、
前記画像に基づいて、前記サンプリングノズルに保持された前記検体中における有形成分の有無を判定し、
前記有形成分が有ると判定した場合に、前記検体分注部を制御して前記検体採取容器に収容された前記検体の前記有形成分を含む上層を破棄させる、検査装置。
【請求項２】
前記プロセッサは、前記検体採取容器に収容された前記検体の前記有形成分を含む上層を廃棄させた後、前記検体分注部を制御して、前記検体採取容器から、再度、前記検体を吸引し、前記反応セルに吐出する処理を実施する、請求項１に記載の検査装置。
【請求項３】
エラーを報知する報知部をさらに備え、
前記プロセッサは、前記サンプリングノズルに保持された前記検体中に前記有形成分が有ると判定した場合に、前記報知部により前記有形成分が有ることを報知させる、請求項１に記載の検査装置。
【請求項４】
前記検体が、前記検体採取容器中で遠心分離処理が施された全血中の血漿もしくは血清である、請求項１から３のいずれか１項に記載の検査装置。
【請求項５】
前記検出部は、抗原抗体反応を利用して前記対象物質に付与された標識からの発光又は蛍光を検出することによって、前記対象物質を検出する、請求項１から３のいずれか１項

に記載の検査装置。